

四半期報告書

(第24期第2四半期)

自 平成23年7月1日
至 平成23年9月30日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

東京都新宿区西五軒町13番1号

目 次

| | 頁 |
|-------------------------------------|----|
| 表 紙 | 1 |
| 第一部 企業情報 | 2 |
| 第1 企業の概況 | 2 |
| 1 主要な経営指標等の推移 | 2 |
| 2 事業の内容 | 3 |
| 第2 事業の状況 | 4 |
| 1 事業等のリスク | 4 |
| 2 経営上の重要な契約等 | 4 |
| 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 4 |
| 第3 提出会社の状況 | 6 |
| 1 株式等の状況 | 6 |
| (1) 株式の総数等 | 6 |
| (2) 新株予約権等の状況 | 6 |
| (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 | 6 |
| (4) ライツプランの内容 | 6 |
| (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 | 6 |
| (6) 大株主の状況 | 7 |
| (7) 議決権の状況 | 8 |
| 2 役員の状況 | 8 |
| 第4 経理の状況 | 9 |
| 1 四半期連結財務諸表 | 10 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 10 |
| (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 | 12 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| 2 その他 | 17 |
| 第二部 提出会社の保証会社等の情報 | 18 |

[四半期レビュー報告書]

[確認書]

【表紙】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月11日 |
| 【四半期会計期間】 | 第24期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | ソフトバンク・テクノロジー株式会社 |
| 【英訳名】 | SOFTBANK TECHNOLOGY CORP. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 石川 憲和 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都新宿区西五軒町13番1号 |
| 【電話番号】 | 03（5206）3316 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 志水 直樹 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都新宿区西五軒町13番1号 |
| 【電話番号】 | 03（5206）3316 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 志水 直樹 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第23期 第2四半期 連結累計期間 | 第24期 第2四半期 連結累計期間 | 第23期 |
|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年 4月1日 至 平成22年 9月30日 | 自 平成23年 4月1日 至 平成23年 9月30日 | 自 平成22年 4月1日 至 平成23年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 13,944,191 | 14,851,574 | 29,614,699 |
| 経常利益 (千円) | 526,900 | 682,702 | 1,133,023 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 228,999 | 390,054 | 475,845 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 161,837 | 452,305 | 387,732 |
| 純資産額 (千円) | 7,172,841 | 7,713,111 | 7,398,735 |
| 総資産額 (千円) | 12,589,184 | 13,356,266 | 13,337,728 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 23.66 | 40.30 | 49.17 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | — | — | — |
| 自己資本比率 (%) | 57.0 | 57.7 | 55.5 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 518,960 | 833,709 | 1,470,940 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | △342,842 | 208,364 | △607,457 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | △164,878 | △149,652 | △180,434 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 3,592,416 | 5,156,656 | 4,264,224 |

| 回次 | 第23期 第2四半期 連結会計期間 | 第24期 第2四半期 連結会計期間 |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自 平成22年 7月1日 至 平成22年 9月30日 | 自 平成23年 7月1日 至 平成23年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 12.99 | 17.73 |

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 3 第23期第2四半期連結累計期間、第23期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、第24期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 4 第23期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の経済停滞を脱し、ゆるやかな回復が見られました。また、ソフトバンクグループにおいては、通信事業関連を中心に積極的な設備投資が継続しました。

このような状況下、当社は引き続き「System Integrator から Service Integrator へ」を標榜し、事業のService化と体系化を推進してまいりました。

お客様のオンラインビジネスを加速させる「Online Business Solution & Service」事業では、「EC-BPO Service」での収益率向上、「Web-Marketing Service」での新規顧客を中心とした拡販に注力してまいりました。

お客様のクラウド化を支援する「Cloud Enabling®」事業では、IDC事業者やグループ会社向けのクラウド化支援サービスが好調に推移しました。自社開発した「Access Service」も顧客獲得に傾注し黒字化を果たしました。省電力への投資意欲を受けて省電力・高密度サーバ販売も伸長しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は14,851,574千円（前年同期比+6.5%）、営業利益684,945千円（前年同期比+44.8%）、経常利益682,702千円（前年同期比+29.6%）、四半期純利益390,054千円（前年同期比+70.3%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イービジネスサービス事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,960,931千円（前年同期比+0.7%）、営業利益は448,773千円（前年同期比+26.4%）となりました。

当事業の中核を成す「EC-BPO Service」においては、国内におけるウイルス対策ソフト販売で安定的な売上高を確保する一方、事業の選択と集中による収益率向上策を進めたことで増益となりました。

また、さらなる事業拡大のため東アジア諸国でのサービス提供も開始しており、順調に売上を伸ばしております。

サービスの総合化をすすめている「Web-Marketing Service」についても、新規顧客を中心とした拡販により利益貢献を果たしております。

(ソリューション事業)

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,890,642千円（前年同期比+16.8%）、営業利益は236,172千円（前年同期比+100.2%）となりました。

当事業では、Cloud Serviceへのセキュアなアクセスを可能にするAccess Serviceが順調に事業進展しております。「Online Service Gate®」が黒字化を果たすとともに、新たにサービス開始した「Smart Catalog Access」も大規模導入案件を獲得し、収益に寄与しました。

また、IDC事業者やソフトバンクグループ会社向けにクラウド化支援ビジネスが順調に推移したほか、震災を機に高まった省電力需要を受けた省電力・高密度サーバ販売ビジネスが大きく伸長しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より892,421千円増加して5,156,656千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、833,709千円の資金の増加となりました。前年同期に比べて314,748千円増加しておりますが、これは、税金等調整前四半期純利益の増加、法人税等の支払額の減少などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、208,364千円の資金の増加となりました。前年同期に比べて551,207千円増加しておりますが、これは、有価証券の取得による支出の減少、有価証券の償還による収入の増加などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、149,652千円の資金の減少となりました。前年同期に比べて15,226千円増加しておりますが、これは、配当金の支払額の減少などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、18,965千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 42,560,800 |
| 計 | 42,560,800 |

②【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数 (株) (平成23年11月11日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|----------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 普通株式 | 10,640,200 | 10,640,200 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式、単元株式 数100株 |
| 計 | 10,640,200 | 10,640,200 | — | — |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | — | 10,640 | — | 634,555 | — | 712,204 |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%) |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------|------------------------------------|
| ソフトバンク株式会社 | 東京都港区東新橋 1-9-1 | 5,367,500 | 50.44 |
| ビービーエイチ フォー ファイデリティー ロープライス ストック フアンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行) | 40 WATER STREET, BOSTON MA 02109 U. S. A. (東京都千代田区丸の内 2-7-1 決 済事業部) | 700,000 | 6.57 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口) (注) 2 | 東京都中央区晴海 1-8-11 | 157,500 | 1.48 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会 社(信託口) (注) 3 | 東京都港区浜松町 2-11-3 | 125,300 | 1.17 |
| 石川 憲和 | 東京都目黒区 | 120,000 | 1.12 |
| 山田 勝男 | 千葉県浦安市 | 60,000 | 0.56 |
| 金子 博昭 | 和歌山県和歌山市 | 50,000 | 0.46 |
| 真鳥 俊幸 | 福岡県福岡市南区 | 39,000 | 0.36 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口1) (注) 2 | 東京都中央区晴海 1-8-11 | 36,100 | 0.33 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会 社(信託口6) (注) 2 | 東京都中央区晴海 1-8-11 | 34,900 | 0.32 |
| 計 | — | 6,690,300 | 62.87 |

(注) 1 上記のほか当社所有の自己株式961,775株(9.03%)があります。

2 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものであります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数 (株) | 議決権の数 (個) | 内容 |
|-----------------|--------------------------|-----------|----|
| 無議決権株式 | — | — | — |
| 議決権制限株式 (自己株式等) | — | — | — |
| 議決権制限株式 (その他) | — | — | — |
| 完全議決権株式 (自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 961,700 | — | — |
| 完全議決権株式 (その他) | 普通株式 9,674,500 | 96,745 | — |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,000 | — | — |
| 発行済株式総数 | 10,640,200 | — | — |
| 総株主の議決権 | — | 96,745 | — |

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式75株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数の 合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合 (%) |
|-----------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-------------------------------------|
| (自己保有株式) ソフトバンク・テクノロジー 株式会社 | 東京都新宿区西五軒町 13番1号 | 961,700 | | 961,700 | 9.03 |
| 計 | — | 961,700 | | 961,700 | 9.03 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,065,127 | 4,957,433 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,163,928 | 3,590,567 |
| 有価証券 | 496,835 | 298,292 |
| 商品 | 56,893 | 48,796 |
| 仕掛品 | 125,565 | 135,938 |
| 繰延税金資産 | 163,986 | 173,097 |
| その他 | 518,811 | 569,584 |
| 貸倒引当金 | △18,455 | △18,047 |
| 流動資産合計 | 9,572,693 | 9,755,663 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物（純額） | 98,743 | 90,601 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 340,632 | 315,949 |
| 建設仮勘定 | 3,049 | 806 |
| 有形固定資産合計 | 442,424 | 407,357 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 457,059 | 470,987 |
| ソフトウェア仮勘定 | 34,687 | 68,249 |
| その他 | 12,182 | 11,993 |
| 無形固定資産合計 | 503,929 | 551,230 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,821,001 | 1,702,573 |
| 繰延税金資産 | 411,679 | 341,025 |
| その他 | 595,549 | 607,065 |
| 貸倒引当金 | △9,550 | △8,650 |
| 投資その他の資産合計 | 2,818,681 | 2,642,015 |
| 固定資産合計 | 3,765,035 | 3,600,603 |
| 資産合計 | 13,337,728 | 13,356,266 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 4,027,584 | 3,428,201 |
| リース債務 | 31,448 | 32,001 |
| 未払金 | 297,918 | 317,894 |
| 未払法人税等 | 84,934 | 234,701 |
| 賞与引当金 | 314,982 | 324,666 |
| 役員賞与引当金 | — | 5,700 |
| 受注損失引当金 | — | 1,485 |
| 瑕疵補修引当金 | 6,225 | — |
| その他 | 650,689 | 792,868 |
| 流動負債合計 | 5,413,783 | 5,137,519 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 93,067 | 76,927 |
| 長期前受金 | 367,756 | 365,642 |
| 負ののれん | 11,650 | 9,858 |
| 資産除去債務 | 52,735 | 53,207 |
| 固定負債合計 | 525,210 | 505,635 |
| 負債合計 | 5,938,993 | 5,643,155 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 634,555 | 634,555 |
| 資本剰余金 | 712,204 | 712,204 |
| 利益剰余金 | 6,840,066 | 7,092,192 |
| 自己株式 | △747,553 | △747,553 |
| 株主資本合計 | 7,439,273 | 7,691,399 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,704 | 21,712 |
| 為替換算調整勘定 | △52,242 | — |
| その他の包括利益累計額合計 | △40,537 | 21,712 |
| 純資産合計 | 7,398,735 | 7,713,111 |
| 負債純資産合計 | 13,337,728 | 13,356,266 |

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 売上高 | 13,944,191 | 14,851,574 |
| 売上原価 | 12,638,824 | 13,405,179 |
| 売上総利益 | 1,305,367 | 1,446,394 |
| 販売費及び一般管理費 | ※ 832,369 | ※ 761,448 |
| 営業利益 | 472,997 | 684,945 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 16,374 | 25,809 |
| 受取配当金 | 3,290 | 3,660 |
| 持分法による投資利益 | 29,250 | — |
| 雑収入 | 8,136 | 4,758 |
| 営業外収益合計 | 57,051 | 34,227 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,113 | 1,961 |
| 投資事業組合運用損 | — | 24,209 |
| 為替差損 | — | 10,297 |
| 雑損失 | 34 | 2 |
| 営業外費用合計 | 3,148 | 36,471 |
| 経常利益 | 526,900 | 682,702 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 159,367 | 43,209 |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,353 | — |
| その他 | 1,000 | — |
| 特別利益合計 | 161,720 | 43,209 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 59,839 | 8,705 |
| 投資有価証券売却損 | 18,322 | 6,831 |
| 投資有価証券評価損 | 150,975 | 21,719 |
| 減損損失 | 20,614 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 47,274 | — |
| その他 | 21,318 | — |
| 特別損失合計 | 318,345 | 37,257 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 370,276 | 688,654 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 230,574 | 221,706 |
| 法人税等調整額 | △89,297 | 76,892 |
| 法人税等合計 | 141,277 | 298,599 |
| 四半期純利益 | 228,999 | 390,054 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △33,885 | 10,007 |
| 為替換算調整勘定 | △33,276 | 52,242 |
| その他の包括利益合計 | △67,161 | 62,250 |
| 四半期包括利益 | 161,837 | 452,305 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 370,276 | 688,654 |
| 減価償却費 | 144,878 | 146,625 |
| 減損損失 | 20,614 | — |
| 負ののれん償却額 | △1,792 | △1,792 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △459 | △408 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 20,466 | 9,683 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 4,560 | 5,700 |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少) | △72,759 | 1,485 |
| 瑕疵補修引当金の増減額 (△は減少) | — | △6,225 |
| 有形固定資産除却損 | 983 | 1,187 |
| 無形固定資産除却損 | 58,856 | 7,517 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19,664 | △29,469 |
| 支払利息 | 3,113 | 1,961 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △29,250 | — |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | △1,600 | 24,209 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △141,044 | △36,377 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 150,975 | 21,719 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 47,274 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 373,591 | 573,361 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △23,232 | △1,814 |
| 営業債権の増減額 (△は増加) | △219,610 | △63,114 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △134,520 | △599,383 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △12,312 | △12,472 |
| 営業債務の増減額 (△は減少) | 186,415 | 153,768 |
| その他 | 16,281 | △428 |
| 小計 | 742,039 | 884,387 |
| 利息及び配当金の受取額 | 133,951 | 24,977 |
| 利息の支払額 | △3,113 | △1,961 |
| 法人税等の支払額 | △353,916 | △73,693 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 518,960 | 833,709 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △167,121 | △34,403 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △99,859 | △132,694 |
| 有価証券の取得による支出 | △299,125 | — |
| 有価証券の償還による収入 | 100,000 | 300,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △295,534 | △200,959 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 406,719 | 275,520 |
| 貸付金の回収による収入 | 900 | 900 |
| 差入保証金の差入による支出 | △360 | — |
| 差入保証金の回収による収入 | 25,266 | — |
| 資産除去債務の履行に係る支出額 | △13,728 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △342,842 | 208,364 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 600,000 | — |
| 短期借入金の返済による支出 | △600,000 | — |
| 配当金の支払額 | △154,767 | △134,065 |
| 新規取得設備のリース化による収入 | 4,519 | — |
| リース債務の返済による支出 | △14,631 | △15,587 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △164,878 | △149,652 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 11,239 | 892,421 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,581,176 | 4,264,234 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※ 3,592,416 | ※ 5,156,656 |

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

| |
|-------------------------------------------------------------------------------|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| 持分法適用の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、科大恒星電子商務技術有限公司は全持分を譲渡したため、持分法適用の範囲から除外しております。 |

【追加情報】

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当社は、ソフトバンク㈱と極度貸付契約書を締結しております。当該契約に基づく貸出未実行残高は以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 貸付限度額 | 2,500,000千円 | 4,000,000千円 |
| 当期末貸付残高 | 一千円 | 一千円 |
| 貸付未実行残高(差引額) | 2,500,000千円 | 4,000,000千円 |

なお、上記極度貸付約定書においては、個別に審査し貸付額を決定するため、必ずしも全額が貸付実行されるものではありません。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 給与手当 | 319,741千円 | 276,972千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 61千円 | 16千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 73,767千円 | 82,198千円 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 4,560千円 | 5,700千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 現金及び預金勘定 | 3,592,416千円 | 4,957,433千円 |
| 有価証券勘定 | 一千円 | 298,292千円 |
| 償還期間が3ヶ月を超える債券 | 一千円 | △99,070千円 |
| 現金及び現金同等物 | 3,592,416千円 | 5,156,656千円 |

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月19日 定時株主総会 | 普通株式 | 154,854 | 16.00 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月21日 | 利益剰余金 |

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月22日 定時株主総会 | 普通株式 | 154,854 | 16.00 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月23日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | イービジネスサービス 事業 | ソリューション事業 | 合計 |
|-----------------------|------------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,899,473 | 5,044,718 | 13,944,191 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 8,899,473 | 5,044,718 | 13,944,191 |
| セグメント利益 | 355,004 | 117,993 | 472,997 |

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ソリューション事業」セグメントにおいて遊休状態となった事業用の固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては20,614千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | イービジネスサービス 事業 | ソリューション事業 | 合計 |
|-----------------------|------------------|-----------|------------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,960,931 | 5,890,642 | 14,851,574 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 8,960,931 | 5,890,642 | 14,851,574 |
| セグメント利益 | 448,773 | 236,172 | 684,945 |

(注)セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 23円66銭 | 40円30銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 228,999 | 390,054 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 228,999 | 390,054 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,678,425 | 9,678,425 |

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

ソフトバンク・テクノロジー株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 板 谷 宏 之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 朽 木 利 宏 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているソフトバンク・テクノロジー株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ソフトバンク・テクノロジー株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

| | |
|----------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 確認書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の8第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月11日 |
| 【会社名】 | ソフトバンク・テクノロジー株式会社 |
| 【英訳名】 | SOFTBANK TECHNOLOGY CORP. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 石川 憲和 |
| 【最高財務責任者の役職氏名】 | — |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都新宿区西五軒町13番1号 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役石川憲和は、当社の第24期第2四半期（自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。